

シルバー連合会

ふくおか

FUKUOKA No. 43

第43号
2019年2月発行

会長挨拶	1	安全就業について	5
研修報告(理事長会議中心、他項目のみ)	2	人材育成事業報告	6
普及啓発促進月間(シルバーフェスティバル等)...	3	子育てマイスター報告、会員募集	7



いよいよ

新しい年を迎え、いよいよ「平成」という時代に別れを告げるときが近づいてまいりました。大きな節目を迎えるに当たり、身が引き締まる思いです。

昨年は、全国で地震や台風により多くの地域が被害を受けた年でありました。平成29年7月の北部九州豪雨で被害を受けた朝倉地域など、まだまだ災害復旧事業は続いています。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

また、皆様が「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、シルバー人材センター事業の推進にご尽力いただきましたことに対し、心からお礼申し上げます。

近年、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しています。

平成30年度の高齢社会白書では、平成29（2017）年10月1日現在、我が国の総人口は、1億2,671万人、65歳以上人口は、3,515万人で高齢化率は27.7%、となっており、2065年には、総人口が8,808万人と減少するなかで、高齢化率は38.4%に達して、約2.6人に1人が65歳以上とされており、今より更に高齢化の社会となると推計されています。

そのような状況の中、高齢者の生きがいづくり、会員の健康の維持に寄与することがシルバー人材センターの役割であり使命であります。そのため、今まで以上に会員の増加と事業の拡大・充実を図っていかねばなりません。

今年度から第2次会員百万人達成計画が動き出し、平成32年度80万人、平成36年度100万人を目標としています。県下のセンターで、会員は3分の1近くのセンターで増加しているものの全体としては減少し続けています。

公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会

会長 井形 陽一



それぞれのセンターは会員の拡大に成功している事例を参考にし、知恵を出して、新たな取り組みを始めて会員の増加を図っていただきたいと思えます。

特に、福岡県における人材派遣事業への取り組みでは、平成21年度の事業開始以降、契約件数や契約金額、就業延べ人員など増加し平成30年度では、およそ11億円を予測しています。好景気が続いていることや、労働力不足の状況の中で、今後、受注量、就業会員数や仕事量は増加していくと予想しています。

一方、横ばい状態を続ける請負・委任の分野で、今後さらに拡大することが期待されているのが子育て・福祉・家事支援サービスへの取り組みです。

「ふくおか子育てマイスター研修」の受託や、「介護予防・日常生活支援総合事業」への取り組みが重要になると考えています。

また一方では、一昨年度の高齢者交通事故5件に続き、昨年は就業中の病死、就業先へ向かう途中での交通事故死、併せて3件の重大事故が発生しました。

シルバー人材センターは、安全第一を最優先に、新年度は、死亡事故0を目指し、安全就業の取組みに力を注いでいかなければならないと考えています。

今後、連合会は各シルバー人材センターの事業運営の支援とともに、様々な情報を提供してまいります。

今後、益々のご指導、ご鞭撻をお願いします。

理事長会議を開催しました

联合会初めての試みとして理事長会議を平成30年11月2日に開催しました。

会議の内容については、「理事長の責任」というテーマで安全就業に関して3センターの理事長に事例報告をお願いしました。重篤事故発生時の対応としてセンターのトップである理事長の心痛がヒシヒシと伝わってきました。過去の名誉職の時代は終わったように感じました。

その後、「法人代表者の社会保険」について、日本年金機構博多年金事務所に講演をお願いしました。法人代表者である理事長は、年齢によって社会保険に加入することが義務付けられているとのことでした。

フリートキングでは、会員・就業拡大、安全就業などのテーマを決め、活発に意見がだされていました。他のセンターの取組等を参考に「今後のセンター運営に大いに役に立った」との感想が聞かれました。

会議を通し、様々な意見交換が行われ、有意義な一日となったようです。



<その他平成30年度連合会が実施した事務局向け研修・会議等事業>

- 役職員研修会
- 監事研修会
- シルバー派遣事業担当職員研修会
- シルバー派遣事業実務担当職員会議
- 子育て・福祉・家事援助サービス事業担当職員研修会
- 子育て・福祉・家事援助サービス事業担当職員会議
- 安全就業推進員研修会
- 総務・会計担当職員研修会



シルバーフェスティバル 2018

シルバー人材センターの事業や活動を紹介する、年に1度の大イベント



シルバーフェスティバル 2018を開催しました

10月20日、21日にRKB毎日放送会館においてシルバーフェスティバル2018を開催しました。県内の12センターに参加していただき、様々な出展物が並びました。両日とも天気に恵まれ、たくさんの来場者を迎える中、シルバー人材センターの存在を大いにアピールできた2日間でした。

福岡市は今年も手作り作品の数々が並び、筆耕やお子さんを対象にした人形作りなども実施されました。ひよっこ踊りは今年も大好評。面白い表情をしたお面とコミカルな動きが人々の足を止め、笑顔を呼び込んでいました。

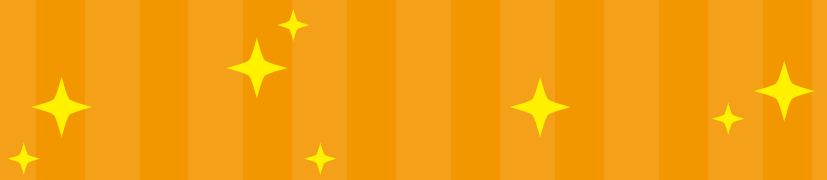
初出展となったのが古賀市です。さとうきびを搾る機械を持ち込み、搾り体験を実施。搾った汁を煮詰めて黒砂糖作りを見せました。興味を持つ方がとても多く、質疑応答が展開されていました。

筑紫野市はリフォームした洋服や様々な配色で作られた布草履、小物などを販売。布草履は男性用、女性用、子ども用とサイズも色も豊富で、どれも素敵と迷う姿が多くありました。

須恵町は会員さんのアイデアが光る、工夫を凝らした様々な種類の小物類を販売しました。人気だったのは買い物用のエコバッグ。特にカゴにすっぽりかぶせて利用できるタイプはあつという間に売れていました。

久留米市も手作り小物を出展です。

とっても
楽しかったね!



須恵町(手作り小物)



柳川市(さげもん、アイス)



大川市(木工品、小物)



連合会こどもひろば



筑紫野市(手作り衣料品等)



古賀市(さとうきび搾り)

手作りだよ!



朝倉市(甘木しぼり作品)



久留米市(手作り小物等)

今年も各センターの協力により、会員さんの元気な姿や活動の成果を大いに見ていただくことができました。これをきっかけにシルバー人材センターをもっと身近に感じていただけたら嬉しいです。

会員さんの人柄も手伝って、会話を楽しむ場にもなっていました。うきは市の柿・梨は試食がたくさん用意され、「甘いーおいしい!」と大人気です。毎年楽しみにしているという声も聞かれ、こちらもあつという間に売れていました。

大牟田市は独自事業で展開しているリサイクル品を展覧です。今年は初めて陶器類が並び、手に取る来場者がたくさんいました。

糸島市は苔玉と小物を販売です。並べられた丸い苔玉はどれもかわいらしい佇まいで、見ているだけで癒されました。

直方市はお弁当、綿菓子、いきなり団子などこちらも毎年人気の定番商品です。今年はおしゃれなケース入り綿菓子が初登場し、特に女の子は目を輝かせていました。

柳川市は色鮮やかな「さげもん」とうっ味のソフトクリーム。天気がよかったのも手伝って、飛ぶように売れました。

大川市は木工の町ならではの木を使った様々な作品と小物を展覧です。木のまな板が人気でした。

朝倉市は甘木しぼりで作られた作品の数々。工夫を凝らした商品は行き交う人々の足を止めていました。

連合会では今年もこどもひろばを開設。びゅんびゅんゴマづくりをたくさんのこどもたちと一緒に楽しみました。

安全就業について

平成30年度の安全目標

「重篤事故の撲滅」及び「石飛事故の防止(前年度事故件数の半減)」

目標達成のため重点実施項目

- 1 作業開始前、お互いの作業の段取り、体調管理、安全等を十分に確認し、作業を始める。
- 2 脚立を使用する作業は、脚立の作業前点検の実施後、脚のガタつきがないように設置し、こまめに移動を行ない、無理な姿勢をとらない。また、足元の整理整頓により安全通路を確保する。
- 3 転倒事故防止のため、日常的な予防運動の実施等の啓発活動を行う。
- 4 自転車運転は、交通ルールを守り、慣れた道でも周りの状況に注意した運転を心掛ける。
- 5 刈払機を使用する作業は、作業箇所周辺に作業中の看板、立入禁止のためのカラーコーンを設置し、防護ネット等により石飛事故防止に努める。
- 6 過去の重篤事故を教訓に同種事故の撲滅を図る。

昨年度発生した5件の重篤事故を踏まえ、今年度は「絶対に重篤事故は起こさないぞ!」という強い気持ちで上記の安全目標、重点実施項目を定めスタートしましたが、重大事故3件(病死扱い2件、就業途上の死亡事故1件…保険申請中で重篤事故扱いか未定)が発生しました。

この失われた尊い命に対して、すべてのセンターが真摯に向き合い、日頃からの健康管理、就業前の体調チェック、交通ルールを守ることを注意喚起しているかを自問し、出来ていなければ実施することが安全就業へ確実につながります。

また、事故が発生した場合、事故原因を色々な角度から分析(4M分析)し、具体的な再発防止策を立て、全員で実施すること、さらに、就業前、危険予知活動(KYK)を実施し、何が危険か、その危険を除去するためにどうするかを考え、実施することも大切です。

安全就業には近道はありません。「安全」を常に意識し、基本的なことを一つ一つ実施する、またそれを「習慣付ける」ことです。

「安全」とは、「身の危険がなく心が落ち着いていること」であり、家に帰った時に、「ただいまー!」と元気に言えることが、安全の最高の結果です。



平成30年度 高齢者活躍人材育成事業

福岡県シルバー人材センター連合会では、高齢化や労働人口の減少が進行する中、人手不足分野や、現役世代を支える分野における高齢者の就業促進として、高齢者の生活の安定、生きがいの向上および健康の維持・増進、企業の人手不足の解消、地域社会・経済の維持、発展のため福岡労働局から「高齢者活躍人材育成事業」を受託し10種目の講習を計画いたしました。

内容については、介護に伴う送迎運転、生活支援、調理補助、家事援助・オフィスビル清掃・学童保育・保育スタッフ・公園緑地管理・野菜栽培のための刈払・店舗スタッフの47講座を計画し、12月現在41講習が終了したところです。



基礎講習として「接遇」を講座に組み入れ、派遣就業及び請負・委任での接遇のマナーや、よりよいコミュニケーションについて、学びました。

2年目の開催となる「介護送迎運転」では、日々運転を行っているものの道路交通法や、教習車での実技講習で改めて安全のポイントを再確認したところです。

また「学童保育」では定員を上回る応募があり、関連就業率61.3%の実績を上げることができました。

開催にあたり、各シルバー人材センターとともに展開できることに感謝し、残りの講習会に全力で取り組み、より多くの新規入会及び会員の方々の就業に向けて尚一層の支援となりますように行ってまいります。





ふくおか子育てマイスター



ふくおか子育てマイスター事業報告

連合会では、福岡県から委託を受け、平成24年度から「高齢者子育て支援推進事業」に取り組んでいます。今年もふくおか子育てマイスター認定研修会を開催し、新たに122名が加わり、認定されたふくおか子育てマイスターは1,541名となりました。

また、認定研修会のほかにフォローアップ研修会を開催しています。ふくおか子育てマイスターとして活動するための学びを得られるよう、様々なテーマを設定していますが、参加される方々はいつも前向きで熱心です。その姿に事務局はいつも勇気をもらっています。

地域の子育てに目を向け、見守り支える存在として、もっともっと仲間が増えることを願い、今後も事業に取り組んでまいります。

ふくおか子育てマイスター認定研修会

開催月	飯塚市	9月	久留米市	11月
	北九州市	10月	福岡市	12月

(7日間、計30時間)

フォローアップ研修会開催内容

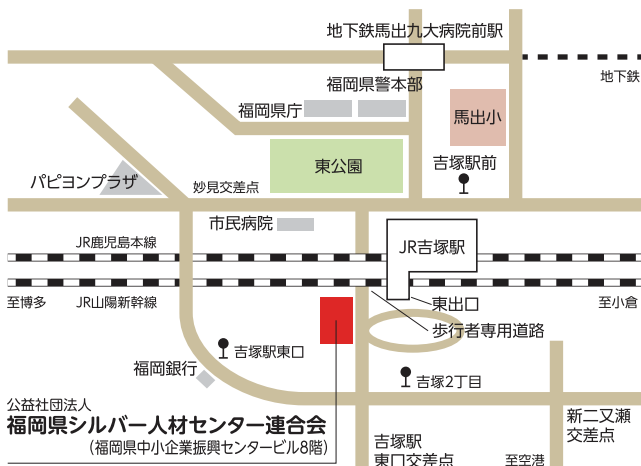
- 子育て
- 親子ふれあい体験
- 子どもの食育
- 遊び講座
- 発達障がいへの理解
- 保育園で働くための基礎知識
- 交流会など

会員募集中!

あなたが身に着けた知識や経験を活かし、地域社会に貢献してみませんか?

シルバー人材センターでは一緒に活動して下さる仲間を募集しています。これまでの人生経験を活かした仕事、新しい分野の仕事など、希望に沿った働き方をご提案します。技能を修得したり磨いたりするための講習会を実施していますので、安心して働いていただけます。仕事以外にも趣味のサークルや互助会での旅行、ボランティアなど様々な活動を実施していますので、仲間作りとともにきっとやりたいことが見つかりますよ。

お近くのシルバー人材センターへ、まずはお電話ください!



公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8F

TEL 092-623-5656 FAX 092-623-5677

ホームページ <http://www.fscr.or.jp>